



広報

にのみや

第256号 発行日 昭和59年4月10日

編集 二宮町広報編集委員会
発行 二宮町企画課 二宮961番地 電話71-3311

町民憲章

ふれあいを深め、ことばをかけあう
さわやかな二宮町をつくりましょう。

みなさんと町行政とのパイプ役

町政事務連絡委員(区長) きままる

昭和五十九年度の町政事務連絡委員(区長)が決まりました。
現在、町には四〇地区からなる行政区画があり、各区域のみ
なさんと町行政のパイプ役として、連絡・調整をしていただく
人が、町政事務連絡委員です。この町政事務連絡委員は、町が

発行する「広報にのみや」など刊行物の配布をはじめ、交通、
防犯などあらゆる面で活躍し、また地区においては区長として
地域の運営と発展に努めてくだされます。
これから一年間、よろしくお願いします。
(敬称略)

- | | | | | | |
|---|--|---|---|--|--|
|
画星 輝一(留)
百合が丘2-1-2
(電話)71-1412 |
寺田 亘利(留)
百合が丘1-105-5
(電話)72-3911 |
野上 誠(留)
百合が丘1-14-12
(電話)71-2875 |
黒光 舜哉(留)
百合が丘3-18-1-108
(電話)71-9738 |
橋本伊佐夫(新)
百合が丘3-6-7-2
(電話)71-9447 |
井上 茂一(留)
一色1179番地
(電話)71-0013 |
|
松田 正(新)
中里882-2-501
(電話)73-2565 |
西山 昇(留)
中里1309番地
(電話)71-2723 |
高橋喜久次(新)
中里815番地
(電話)72-0285 |
金目 勝二(新)
中里917番地
(電話)72-1431 |
原 邦夫(新)
百合が丘3-3-3
(電話)71-7360 |
松田 滋(新)
百合が丘3-24-4
(電話)71-9278 |
|
内山 秀吉(留)
二宮728-9番地
(電話)71-1917 |
田中 義則(留)
二宮908番地
(電話)71-1566 |
西山治郎吉(留)
二宮1276番地
(電話)71-2301 |
一石 光夫(新)
二宮1331番地
(電話)71-2310 |
鈴木 正吉(留)
二宮1445-1番地
(電話)71-1049 |
相原 豊(留)
中里2-14-5
(電話)73-1336 |
|
金子 政次(留)
二宮348番地
(電話)73-2817 |
木部 茂(新)
二宮128番地
(電話)71-1356 |
田中 加一(新)
富士見が丘3-14-13
(電話)72-4005 |
大辻 廣(新)
富士見が丘2-2-12
(電話)73-2632 |
永瀬 準作(留)
富士見が丘1-6-24
(電話)72-4131 |
松本 栄治(留)
二宮815番地
(電話)71-0113 |
|
宮戸 清一(新)
山西939番地
(電話)72-0841 |
義島 達政(留)
二宮582番地
(電話)72-0755 |
志澤 友治(留)
二宮31番地
(電話)71-0531 |
金目 和雄(新)
二宮486番地
(電話)71-1824 |
原 勝(新)
二宮380番地
(電話)72-1773 |
杉山 孝一(留)
二宮335番地
(電話)72-1093 |
|
二見 龍男(留)
山西2073番地
(電話)73-2351 |
峯尾 善(新)
川勾33番地
(電話)0465-43-0180 |
小沢喜代蔵(新)
山西1256番地
(電話)71-0784 |
宮本 勝雄(留)
山西428番地
(電話)72-2610 |
加藤 久雄(新)
山西656番地
(電話)71-2201 |
脇 源次郎(新)
山西806番地
(電話)72-1505 |
|
関口 佐助(新)
山西870番地
(電話)73-1525 |
川崎友太郎(留)
二宮115-7番地
(電話)71-0224 |
北山 敏光(留)
二宮831番地
(電話)71-0444 |
中町 区 |
上町四区 |
上町三区 |

59年度

"緑と花と太陽がいっぱい" 吾妻山公園整備を進めています

自然に親しみ・ふれ合う場に

町のシンボルである吾妻山一帯を、自然の緑を活かした魅力ある公園とするために、住民の声を尊重しながら、国や県とも協議を重ね、吾妻山公園整備事業を進めてきました。昔工は昭和五十七年度から一部完成した施設は、まもなくオープンします。なお吾妻山整備事業は五年計画で、全体の完成は昭和六十一年度を予定しています。

町では、昭和五十五年度に「吾妻山」の緑を保護するために、吾妻山の自然を利用し、子どもからお年寄りまでが自然に親しみ、ふれ合い、自然と調和した憩いの場「研修の場」「体力増強の場」などにしよとする「吾妻山整備事業」を計画しました。

この計画については、町民のみなさんに協議していただくために、小中学生を対象としたアンケート調査と、町民の方からのはがき、電話などによる意見・要望をお願ひしました。

また、昭和五十六年四月一日に二

吾妻山公園計画の概要

公園計画は、社会福祉センター上から浅間神社、吾妻神社、吾妻山に至る海拔一三六の丘陵地と吾妻山から北側へ続く緩急の地形の地帯のうち、公園区域として一・二を整備します。

既存樹木は残します

公園区域一・二の園地の中は、雑木林などの山林を主として園路や広場が造成されています。この公園は、自然の緑を守り育てることが最大の目的であるため、計画においては既存樹木を守る方針で進めています。



完成した花木園地区の一部
(上) 杉木立の中の散策路
(右) 桜の園に整備された休憩所

業においては、利用者に対し一定の空間を提供しなければならぬことになっていきます。

この一定空間には、計画予定地内にある旧農耕地や他の植物（樹木）の生育をさまたげる雑草（シノブ）の密生地、カヤ、ツタ類などの繁殖地があり、これを取り除き既存樹木の生育を助けながら空間をつくりま

す。

藤竹やカヤ、ツタ類も立派な自然の植物ですが、一定地域内においてその専有面積があまりにも多いと、自然を楽しむ人たちの心に、どう映るでしょうか。

また、これらの植物を取り除いて空間を造ることは、この地域の森林、植生を破壊することにはなりません。

この公園計画では、町の気候や吾妻山の地質などの調査にもとづき、自然植生の復元、従来からの林相の補植などをして、林地の再整備をしています。

4ブロックで構成されます

吾妻山公園11.2ヘクタールのうち、植栽、簡易施設などを造る面積は約3ヘクタールあります。

その場所は、今まであった広場や園路、そして篠竹やカヤなどを取り除いた場所です。

この公園の大きな特徴は「花木園地区」「研修センター地区」「展望・運動地区」「動植物観察地区」の四つの大きなブロックから構成されています。

地区別の内容は、吾妻山公園基本設計平面図（3面）を参照しながら見てください。

緑豊かなステーションを

提供するために

この公園計画の第一目的は、自然を破壊せず、緑豊かなステーションを提供することです。

そのためには、最少の地形変更といたし既存の樹木は残す方針で進めています。

さらに花木園地区以外の地区においても、いろいろな花木を植栽し、施設設置で障害となる樹木は移植します。

ご理解・ご協力 お願いします

吾妻山公園は、そのなだらかな地形が幸いして、誰もが手軽に利用できる「緑と花と太陽」と動物たちの健康公園です。

山頂からの眺めのすばらしさは、二宮町が十分に誇れるものです。

前後の自然をそこなう事なく、快適な環境の整備を行い、町民のみなさん方の「うるおい」と「やすらぎ」の場所となり、永く愛され親しまれるよう注意と努力を払い、本公園事業を推進していきますので、ご理解ご協力をお願いします。

一般車両は 進入禁止！

いざの時のために必要な緊急車両と、公園管理のための管理車両が入れられる道路はつくりますが、周囲の景

吾妻山公園基本設計図

自然を活かした四季の公園



動植物観察地区

昨から北（中里）へ向っての一帯は、林相も落葉の雑木林となり、動植物の観察や保護を目的とした地区となります。

施設は掘野の開いた地形を利用して、数種類の小動物を飼育展示し、また自然の林を網で囲んで野鳥ゲージを作り、鳥の観察も行います。

また、中央部分から流れてる沢の水を利用し、所どころに自然風の池（水たまり）を作り、そのまわりには湿性の植物を、水面には水鳥、水中には魚（水性動物）などを繁殖させます。

その他、付近にはタニシ、カエル、ホタルなどの養殖池もつくる予定です。

森の中の観察路沿いには、野趣に富んだ宿根草や野鳥の食餌となるガマズミ、ナナカマド、ヌルデ、ミズキなどを植えこみ、子どもたちや一般の方がたが作った巣箱を取りつけ、野鳥を誘い保護しながら自然探勝の地区とします。

また、一部みかん畑がこの地区にあり、そのままみかん園として公園内に残します。

研修センター地区

この公園を管理する管理棟や研修センターをつくります。

この研修センターは、子供会などで行う各種行事、台宿等に利用するものです。

また他に、動植物などの自然観察の野外学習や講座に、星や月など観察する天体教室、俳句やスケッチなどの集まりや夏季学校等、いろいろな催しにこのセンターを活用します。

研修センター



四季の花の道

自然のめぐりを感じながら
丸太路が続く

花木園地区

いろいろな花木を楽しむ場所ですが、樹種等の選定にあたっては、この一帯の既存樹木、気候、風土、土質等を考慮しながら、四季折りの樹木を植え、花や葉、実などを見て楽しむコーナーです。

この地区は、以前からある多くの桜を十分に保護しながら、さらに違う種類を補植して桜の名所となるようにします。

また、散策路に沿っては春、夏、秋、冬それぞれ特徴ある花木を植えます。

斜面地には、いろいろなツツジ類やシャクナゲなどの群植地を、また所どころに草花園を作り、季節の花、万葉植物、薬草、春・秋の七草、郷土の花などのコーナーもつくります。そのほか、日陰でも咲く花、雨の日も風情ある花木など、一年をとおして、いつでも楽しめる花木園といたします。

利用者の人たちのためには、休憩所、芝生広場、ベンチ、水飲、便所などを設け、みなさんがゆくり観察出来るよう配慮します。

また、空間地には人生記念樹コーナー（出生、入学、卒業、結婚など）や子供会、老人会、福祉関係の方がたへの花だんコーナーなども検討しています。

展望・運動地区

この地区は、当公園で最も高い所にあり、見晴らしがよく、多くの人たちが集まれる場所となります。

若干の整地を行い、芝生を張り「大芝生展望広場」にします。

この展望広場には、屋外ステージ（展望台兼用）をつくつて、各種行事などに利用します。

芝生広場では、太陽の光を充分あびて相模湾や丹沢・富士山などゆっくりながめて、のんびりと過したり、軽いスポーツで楽しく遊んだりできます。

また運動施設は、大規模な造成はせず現況の地形を利用し、変化に豊かなアスレチック広場を北側崖根に向って、約50ポイント設置します。

吾妻神社



桜・草花園



花木園



4月21日から4月30日まで

304

306